

報 道 配 布 資 料

平成21年(2009年)1月29日

所 属 名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連 絡 先
山口県立大学	学長 えさと けんすけ 江里 健輔	大学院健康福祉学研究科長 ながさか ゆうじ 長坂 祐二	大学院健康福祉学研究科教授 たなか あいこ 田中 愛子	083-933-1468 (田中愛子研究室)
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、首都圏			

百寿者から学ぶ：生涯現役社会づくりにむけて 「日韓ハワイ国際合同フォーラム」の開催について

1 趣 旨

健康福祉増進の最終的な到達点は、健康長寿です。その具体的な姿を、百歳以上老人の健康福祉状態に映し出してみることで、健康福祉の課題を浮き彫りにすることをこのフォーラムの目的としています。

2 日 時

平成21年1月31日(土) 9:30~16:30

3 場 所

山口県立大学(新キャンパス)
6号館(看護西棟)2F F204教室

4 概 要

当日のプログラム等は、裏面のとおり

5 その他

参加料無料(事前申込み不要)



百寿者から学ぶ：生涯現役社会づくりにむけて

JAPAN-KOREA-HAWAII JOINT FORUM

New Centenarian Studies:
Towards Active Aging

主催 山口県立大学（大学院健康福祉学研究科）
共催 慶北大学校保健学大学院、ハワイ大学高齢研究センター
後援 山口県、生涯現役社会づくり学会、山口県社会福祉協議会、山口県看護協会、
山口県栄養士会、NHK山口放送局

日時 平成21年1月31日（土）

場所 山口県立大学6号館(看護西棟)2F F204教室

参加者（計200名予定）

山口県立大学大学院生、学生、生涯現役社会づくり学会員、一般県民、ケアマネジャー、保健師、
訪問看護師、社会福祉士、老人クラブ、民生委員、韓国・ハワイから24名の参加者

【プログラム】

9:30

開会挨拶

江里 健輔 山口県立大学学長、今村 孝子 山口県健康福祉部長

10:00

基調報告「アクティブ・エイジング：人生百歳時代の健康福祉学」

小川 全夫 山口県立大学大学院健康福祉学研究科教授

10:30

記念講演会「NHK百歳バンザイ！の取材からみえてきたこと」

垣東 大介 NHKディレクター

12:00～13:30

ランチョン・セミナー及びポスターセッション

山口県立大学・大学院健康福祉学研究科の紹介ポスター、山口県の生涯現役社会づくりの紹介ポスター
大学院健康福祉学研究科修士課程・博士課程院生の自由研究発表、韓国大学院生のポスター発表

13:30～16:30

日韓ハワイ・シンポジウム「百歳高齢者研究の現在」

▼長期的な百寿者研究はなぜ必要か？

チャイ・ビン・パーク博士 ハワイ大学名誉教授
(Dr. Chai Bin Park: Emeritus Professor, University of Hawaii)

▼米国やハワイにおける百寿者研究の発展

キャサリン・ブラウン博士 ハワイ大学マノア校教授(公衆衛生・ソーシャルワーク) 兼 高齢研究センター長
(Braun, Kathryn: Professor, Public Health and Social Work & Director, Center on Aging,
University of Hawaii at Manoa)

▼韓国の百歳以上高齢者は何を食べているのか？

李 誠國 国立慶北大学校保健学大学院教授

▼長寿社会におけるアクティブ・エイジング論の課題～沖縄の現状から～

高野 和良 山口県立大学大学院健康福祉学研究科教授

▼百歳以上の県民はどのように暮らしているのか

田中マキ子 山口県立大学大学院健康福祉学研究科教授

16:30

開会

長坂 祐二 山口県立大学大学院健康福祉学研究科長